

「しんぶん赤旗」(2012/06/20付)

1票の格差是正せず

都議会の「検討会」民自公が了承

共産党は反対

東京都議会（定数127）の1票の格差などについて協議してきた「あり方検討会」は19日、選挙区別の定数格差の是正は行わないとする検討結果を議会運営委員会理事会に提出しました。

共産党の大山とも子都議は、定数格差を放置することとは都民の納得を得られないと主張し反対を表明しましたが、民主・自民・公明各党は検討結果を了承しました。

共産党は、定数格差を放置することには都民の納得を得られないと主張し反対を表明しました。一方、選挙区ごとの定数配分は、議員1人づれ、現行定数の維持を提言しました。

一方、選挙区ごとの定数配分は、議員1人あたりの人口最大格差を最小限に抑える③千代田区の特例選挙区扱いを

これに対し、定数格差の是正に関する見解を公表。見解は現行定数を維持し、①選挙区の定数は最低3人以上にする②議員1人あたりの人口の最大格差を最小限に抑える③千代田区の特例選挙区の廃止をはじめ各選挙区の定数を人口に応じたものに改善するとしています。

やめ近隣区と合併する一を柱として、公職選挙法改正を求めています。同時に、現行法のもとでは千代田区の特例選挙区の廃止をはじめ各選挙区の定数を人口に応じたものに改善するとしています。

日本共産党都議団は著しく軽いことを

議運委理事会で日本